

サントリー健康白書 2025

Suntory Group Health and Wellbeing Report 2025

SUNTORY

サントリー健康白書 2025

発行 サントリーホールディングス株式会社 サントリー食品インターナショナル株式会社



鳥井 信宏

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長

やつて
みんなはれ



心身の健康が
未来を創る

ONE SUNTORY
One Family



西田 英一郎

サントリーホールディングス株式会社
常務執行役員
GCHO(健康管理最高責任者)

いのち “「生命の輝き」をめざして”

サントリーグループは、「人間の生命の輝き」をめざし、商品やサービスを通じて、お客様一人ひとりの健康で豊かな暮らしに貢献するための、絶え間ない挑戦を続けています。この挑戦を支える基盤となるのが、全サントリーグループ従業員とそのご家族の心身の健康です。

サントリーは、2016年に掲げた「健康経営宣言」のもと、従業員とそのご家族が健康でイキイキと働けるためのさまざまな取組みに注力してきました。

健康であることこそが、「やってみんなはれ」精神を発揮し、新たな価値創造に向けた飽くなき挑戦への原動力であると確信しています。

これからも、サントリーはグループ全体で健康経営を推進し、従業員一人ひとりがイキイキと輝きながら、「ONE SUNTORY One Family」として、より多くの「生命の輝き」を世の中に生み出していく挑戦を続けてまいります。

“ 健康を基盤に、挑戦と革新を ”

私たちサントリーグループは、従業員だけでなく、そのご家族もが健康でイキイキと毎日を過ごせることをめざしています。

全従業員とご家族の心と身体の健康を、私たちの挑戦と未来への変革の土台と捉え、日々さまざまな取組みを進めています。

定期健康診断の充実や、さまざまな疾患につながる生活習慣病予防の推進に加えて、メンタルヘルスサポートの強化にも力を入れています。さらに、産業医や看護職に気軽に相談できる体制を整え、いつでも日々の健康相談に応じられるサポートを充実させています。

従業員一人ひとりの「健康オーナーシップ」を基本としながら、健康とやる気を支えることで、全サントリーグループ従業員が未来への道を共に切り拓いていく姿を実現してまいります。

サントリーグループの企業理念

～わたしたちが大切にしていること～

わたしたちの目的 Our Purpose

サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、
「人間の生命の輝き」をめざす。

わたしたちの価値観 Our Values

目的を実現するために、すべての社員が大切にすべき価値観

Growing for Good

人として、企業として、社会のために成長し続けること。
成長し続けることで、社会を良くする力を大きくしていくこと。

やってみなはれ

失敗を恐れることなく、新しい価値の創造をめざし、
あきらめずに挑み続けること。

利益三分主義

事業活動で得たものは、自社への再投資にとどまらず、
お客様へのサービス、社会に還元すること。

サントリーの目指す健康経営

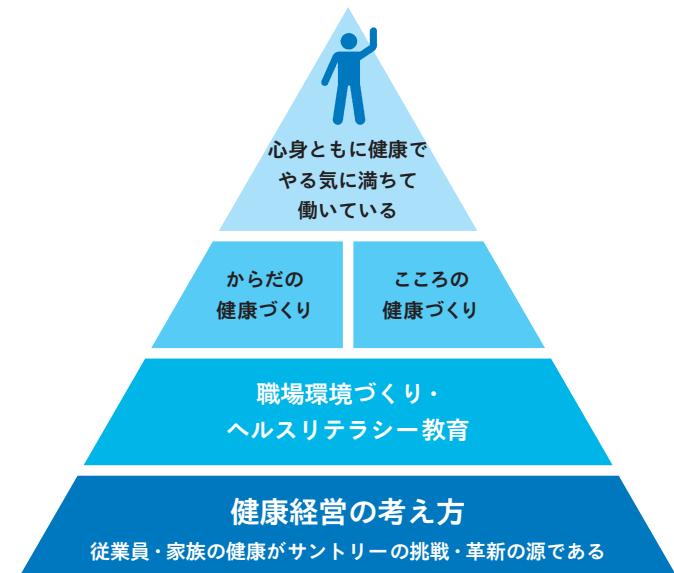
2014年に「健康づくり宣言」、2016年に経営層がGCHO(Global Chief Health Officer: 健康管理最高責任者)に就任し新たに「健康経営宣言」を行いました。

健康経営宣言 (2016年制定)

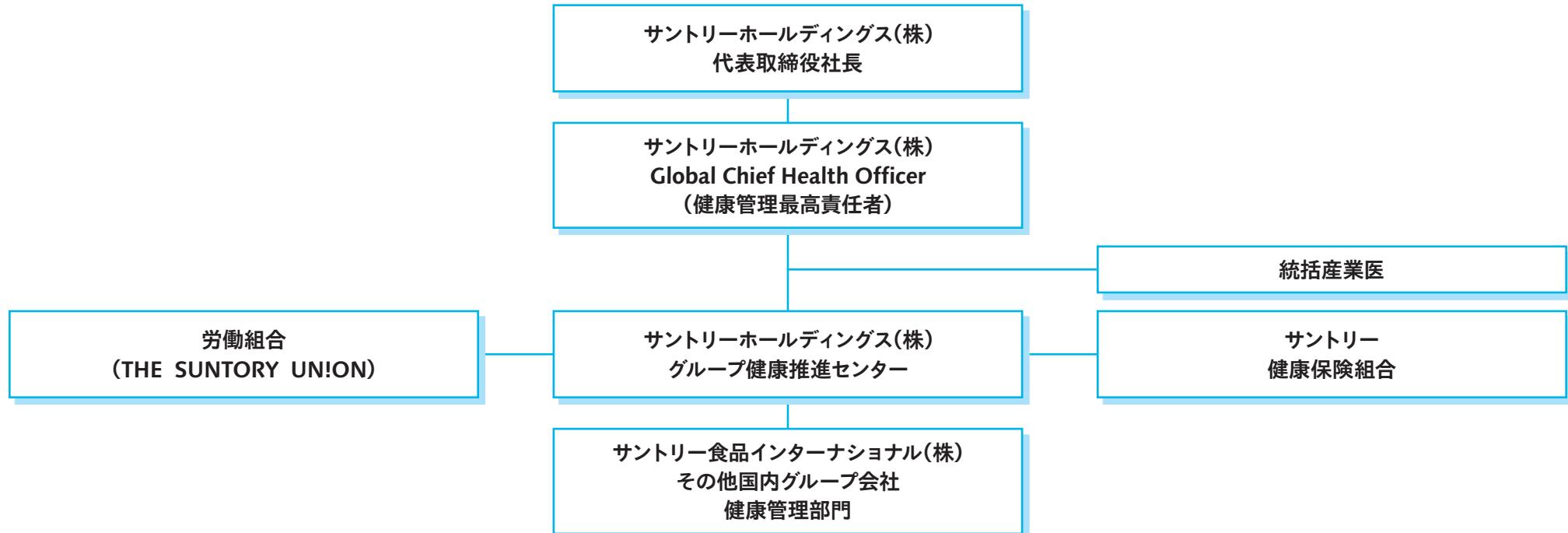
従業員・家族の健康がサントリーの挑戦・革新の源であるという考え方のもと、全従業員が心身ともに健康でやる気に満ちて働いている状態を目指します。

基本方針

- 職場の環境整備や働き方改革を通して、従業員の健康基盤づくりを推進します。
- 従業員への健康情報の提供や個別支援を通して、ヘルスリテラシー教育に取り組みます。
- 生活習慣の改善とともに予防、早期発見、両立支援など身体の健康づくりを推進します。
- 一人ひとりがメンタルヘルスを理解し、適切に心のケアができるよう支援します。
- 取り組みを通して従業員と家族の“人間の生命の輝き”の実現を目指します。



健康推進体制



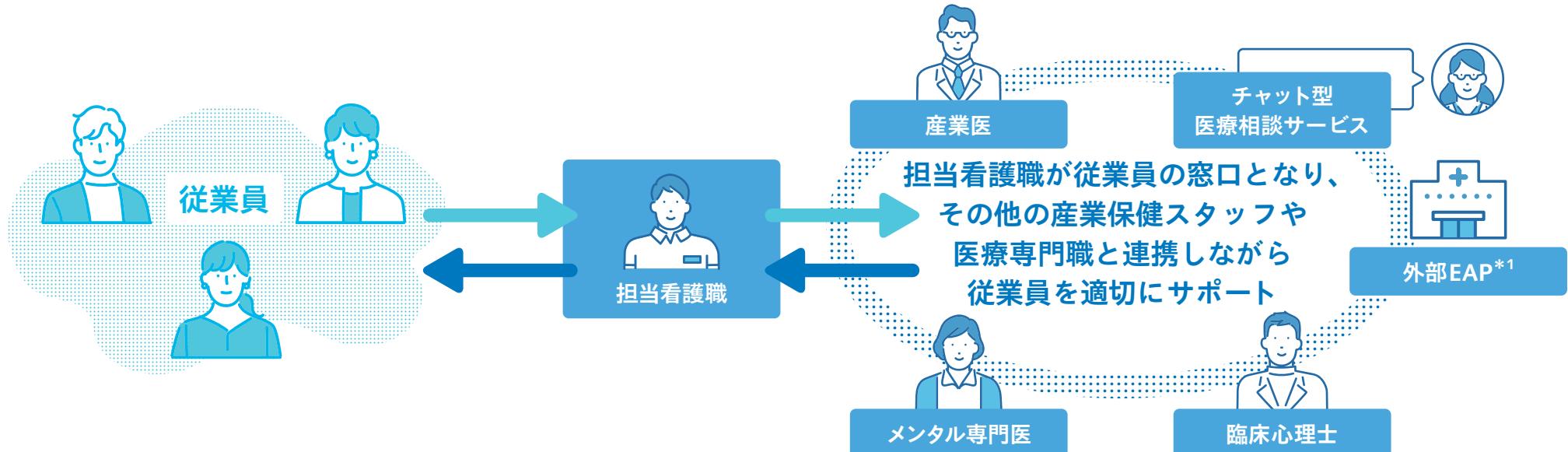
実施している主な健康会議

名称	おもな出席者	開催頻度	内容
経営層との協議会	● 常務執行役員(GCHO) ● 人事部門担当役員 ● 統括産業医	● 看護職 ● 健康管理部門担当者	年2回 会社の方針、健康状況の確認および今後の健康施策等に関する協議
健康管理推進委員会	● 健康保険組合 ● 統括産業医 ● 看護職	● 労働組合 ● 健康管理部門担当者	年3回 サントリー健康保険組合の保健事業・活動について、年間を通じての活動評価・意見交換を行う
グループ会社人事担当者会議	● グループ会社人事担当者 ● 看護職	● 健康管理部門担当者	年1回 各グループ会社従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全社安全衛生委員会	● 統括産業医 ● 労働組合	● 人事部門労務担当者 ● 健康管理部門担当者	年1回 労働組合本部と全社社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全国衛生管理者・推進者会議	● 各事業場の衛生管理者、衛生推進者 ● 統括産業医	● 看護職 ● 健康管理部門担当者	年1回 各事業場の社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議

健康相談対応の体制

サントリーでは全従業員を漏れなくサポートするため、看護職が全事業所を分担して受け持つ担当制を導入しています。担当の看護職が従業員からの相談窓口となり、産業医、メンタル専門医、臨床心理士などが連携して従業員の相談に対応し、健康に就労できるような支援を行います。

また、社内の産業保健スタッフだけでなく、外部相談窓口として、プライベートな家族の問題も含めて相談ができるEパートナー相談窓口や、24時間365日医療相談ができるオンラインサービスFirst Callを設置しています。



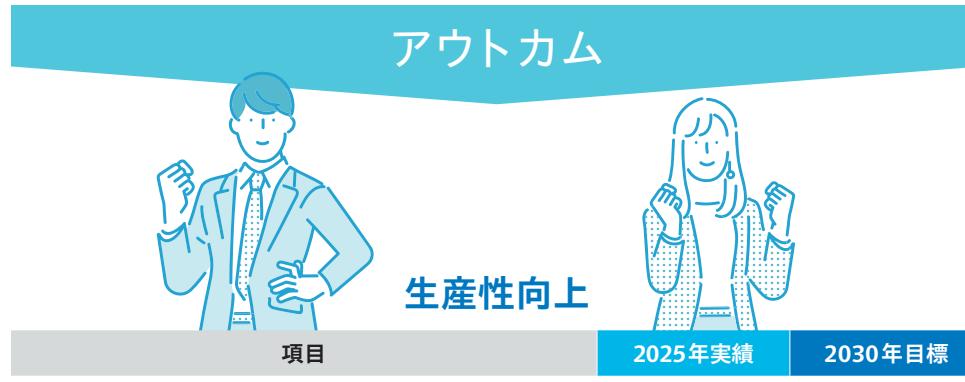
社内相談窓口	看護職 産業医 メンタル専門医 臨床心理士	健康面談など従業員との日々の接点を通して従業員の一番身近な存在としてサポートします。 統括産業医を中心に、定期健診の事後措置や各種面談指導や治療と仕事の両立支援などを行います。 職場のメンタルヘルスに精通した精神科医が産業医や看護職と連携し、従業員をサポートします。 心理学の知識に基づいたカウンセリングを行い、悩みを抱える従業員をケアし、問題を解決できるよう支援します。
社外相談窓口	EAP チャット型医療相談サービス	プライベートや家族の問題などさまざまな悩みについて社外のカウンセラーに相談できる外部サービス 24時間365日チャットやテレビ電話で気軽に医師に健康相談ができるオンラインサービス

*1 EAP(Employees Assistance Program) : 社外にいる事業者が提供する従業員支援プログラム。企業からの相談を受けて、ストレス診断・カウンセリング(電話相談・メール相談・対面)・医療勧奨・メンタルヘルスの教育研修・人事や管理者へのコンサルテーション・復職支援プログラムなどを行う。

※ 本誌の「サントリー」とは、サントリーホールディングス株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーフーズ株式会社、サントリープロダクツ株式会社、サントリー株式会社、サントリーウエルネス株式会社、サントリービジネスシステム株式会社、サントリーグローバルインベーションセンター株式会社を指します。

健康経営の重点項目と目標値

サントリーでは以下の項目を目標に掲げ、こころとからだの健康支援に取り組んでいます。



項目	2024年実績	2030年目標
健康診断受診率	100.0%	100%
再検査・精密検査受診率	89.3%	100%
運動習慣 週2回30分の運動を1年以上継続または日常生活で1日1時間以上の身体活動を実践している人の割合	57.3%	80.0%
食生活 朝食摂取率	68.4%	80.0%
睡眠 睡眠で休養がとれる人の割合	73.0%	90.0%
禁煙 非喫煙率	83.2%	95.0%
DRINK SMART 週1回以上の休肝日実践率	66.7%	90.0%
項目	2025年実績	2030年目標
ストレスチェック受検率	95.5%	100%
非高ストレス判定率	91.6%	95.0%

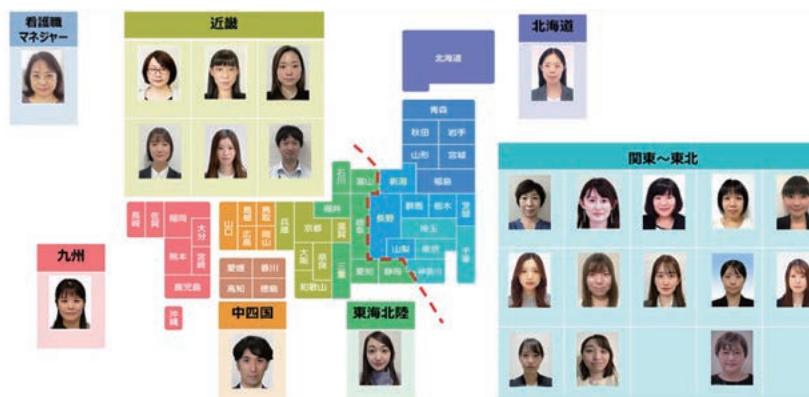
サントリーの健康を支える基盤活動

グループ全体の健康支援

サントリーでは、会社の規模や所属組織、勤務地に関わらず、サントリーグループの従業員であれば、みんな同じレベルの健康施策を受けて欲しいという思いから、国内グループ約2万人を対象に取組みを展開しています。

会社や地域ごとに担当の看護職を配置し、健康関連窓口を明確にすることで、従業員の安心感を醸成、かつ各医療職との円滑な連携を生み出し、グループ企業の健康増進を強力に推進しています。

看護職 全国体制



2024年には各社の健康担当者を対象にした「健康担当者ミーティング」を開催しました。

グループ企業30社・60名以上が参加し、グループ健康推進センターからの情報提供とともに、各社の取り組み事例の紹介や意見交換を行うことで、各社間のつながりやサントリーグループとしての一体感の醸成につながっています。



担当看護職制　社員と1対1の健康面談

サントリーでは従業員一人ひとりに担当看護職がつく「担当看護職制」を取り入れ、いつでも自分の担当看護職に気軽に相談できる環境を整えています。また、定期的に1対1の「健康面談」を実施しています。「健康面談」を通して看護職と従業員が個々の健康状況を共有することで、関係性の構築、心身の不調の早期発見、健康リテラシー向上につながっています。

2025年はこの取組みをグループ25社へ拡げ、グループ全体での健康推進をさらに強化しています

2024年実績

実施者数:

施策満足度: (大変)良かった

内容理解度: (よく)理解できた

3,654名
93.6%
99.9%



サントリーの健康を支える基盤活動

事業所ごとの健康づくり活動のPDCAサイクル

全社の方針に沿って、事業所ごとの衛生委員会にて事業所別健康目標を設定し、各事業所が自律自走して健康に取組む体制づくりをしています。

健康経営宣言 各事業所の衛生委員会にて、拠点健康目標を話し合い、拠点長が宣言実施。

活動実施 各事業所にて、計画に沿って年間を通して健康イベントなどを企画・実施。

振り返り 衛生委員会にて計画に対する振り返りを実施。

年1回の全社衛生委員会では、全国の衛生管理者が各拠点の課題を共有し、意見を交わしながら相互に成長できる場となっています。



全社表彰 特に優れた結果を残した事業所を全社衛生委員会にて表彰。賞品を進呈。



病気と仕事の両立支援体制 両立支援に向けた取組み

不調者に対しては、産業医、メンタルヘルス専門医、臨床心理士などの医療専門職と上司・人事担当者が連携し、しっかりと回復を促す両立支援の体制づくりをしています。

両立支援ハンドブック

従業員が不安なく必要な治療を受け、仕事との両立ができるような体制を支援する制度を紹介しています。

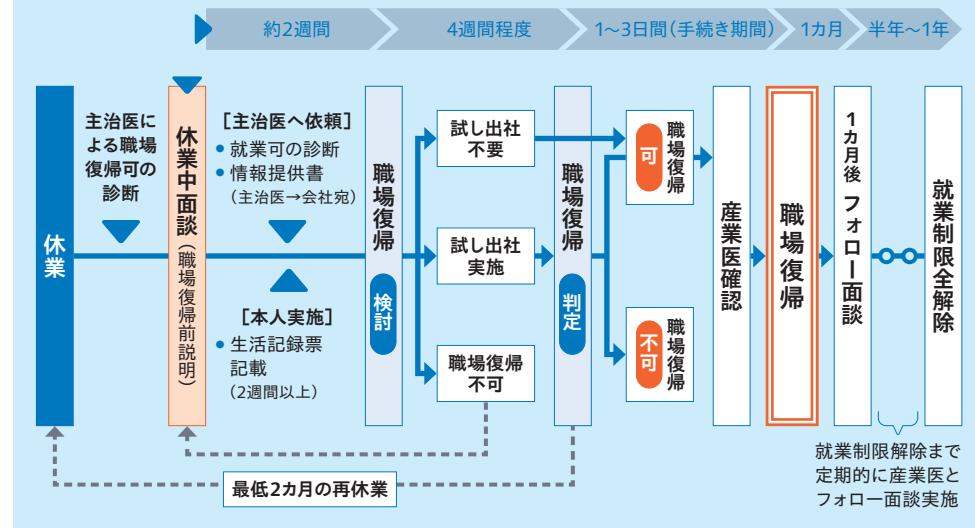
2025年にはメンタルヘルス不調で休業している従業員が安心して復職できるよう、本人だけでなく周囲の人の理解を深められる休復職支援ガイドラインを新たに策定しました。



休業・復職支援

ゴールを単に職場に戻ることではなく継続して働くことに据えて、安全な復職に向けたフォローアップ体制を徹底しています。

職場復帰のフローとフォローアップ体制



生活習慣改善に向けた取組み

目標

運動習慣のある従業員の割合: **80%**

運動習慣のきっかけづくりと定着への活動

運動習慣のきっかけづくり「体組成測定会」

定期健診の際に、内臓脂肪・筋肉量・骨量などの身体組織を測定します。現在の自分の状態を把握し、効果的な運動を行うために、プロの運動指導員からアドバイスを受けられる機会を提供しています。

2024年実績

参加者数(人)	実施拠点(拠点)
3,696	31



日常生活の中への運動習慣取込み「Activeプラス10宣言」

日常生活における「プラス10分の運動習慣」を従業員自らが宣言する「Activeプラス10」を実施しています。自分のライフスタイルにマッチしたグループを4つの中から選択し宣言することで、日常生活の中で無理なく継続できるような仕掛けとなっています。

わたし時間にプラス10

宣言例 お尻で歩きながらテレビを見る

プラス10アドバンス

宣言例 ももを挙げて歩く

通勤・オフィスでプラス10

宣言例 背もたれにもたれない

家事・育児でプラス10

宣言例 中腰でお風呂掃除をする



オフィスでも自宅でも気軽に取り入れられるエクササイズを紹介する「ながら運動」講習会を実施。従業員の運動習慣への動機付けを向上させ、運動を身近に感じられるようなサポートをしています。



グローバル健康経営×サステナビリティイベント One Suntory Walk

2017年より始まったOne Suntory Walk。毎年10月の1ヶ月間、サントリーグループ全体が一体となって歩くことで、社員一人ひとりの健康増進を図るとともに、途上国における安全な飲用水へのアクセス提供につながるユニークな取組みです。毎年世界30カ国以上から多くの従業員が参加し、全サントリー従業員の一体感を感じられるイベントです。



2024年実績

参加人数(人)	歩数(億歩)	走行距離(m)
7,744	15.11	1,151,570

参加国数(国・地域)

寄付額(\$)

30

77,440

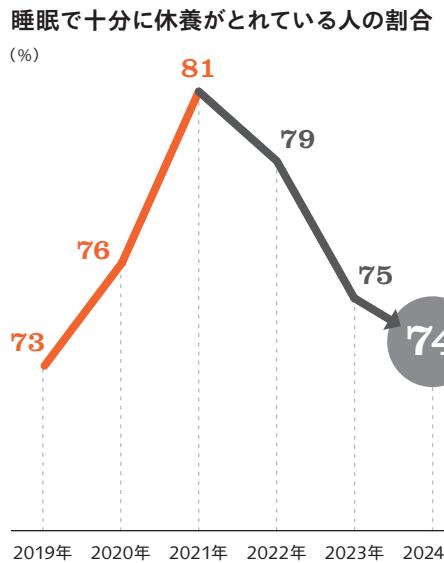
寄付先

非営利団体
charity : water

睡眠の質向上への取組み

目標 睡眠で休養がとれている人の割合: 90%

取組みの背景・課題認識



コロナ禍が終わり、ライフスタイルが通常に戻った2021年以降、睡眠で休養がとれている人の割合が年々悪化傾向となっています。



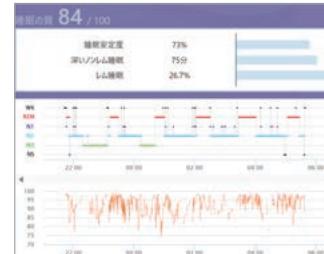
睡眠の質向上への取組み

「睡眠力UPプログラム」*をトライアル実施

Step 1 脳波測定により、自身の睡眠状態を可視化



SUNTORY



*サントリー×S'UIMIN社×WizWe社共同開発



Step 2 LINEでの習慣化サポート

日々の睡眠状態に合わせてLINEで丁寧にアドバイス。参加者の睡眠に良い行動継続へのチャレンジに寄り添い、悩みや本音にも答えながら行動変容の習慣化をサポートします。

プログラム体験後のアンケートで
プレゼンティーアイズムが

3.1%向上

意識の変化

- 数値やグラフで可視化することにより、気づきが深まった
- 生活習慣や健康全般への意識が変わった
- プログラムが終わっても意識づけは続いている

睡眠の質の変化

- 日中の眠気が減少した
- 朝、パッと起きられるようになった

今後の展開

サントリー 睡眠月間である9月に
全社員向けの睡眠セミナーを開催



講師:柳沢 正史先生

株式会社S' UIMIN
取締役CSO会長
国際統合睡眠医科学研究機構
(WPI-IIIS) 機構長

事前アンケートから従業員が抱えている睡眠課題を抽出。サントリー従業員の現状課題に即した内容にすることで、より自分事として捉え、睡眠への意識づけや改善に向けた行動変容につながります。

セミナー事前アンケート

- 睡眠時間が5時間以下と答えた人: **60%以上**
- 眠れない理由:「途中で目が覚めてしまう」「業務で帰宅時間が遅い」「寝くならない」など

今後はセミナー受講者から希望者を募り、より幅広い世代・部門の従業員に向けて「睡眠力UPプログラム」を展開していきます。



参加者の声

- なんとなく「睡眠は大切」と思っていたが、なぜ大切なのかがしっかりと理解できた。
- 睡眠のために日頃の習慣を見直そうと感じた。

食生活改善の取組み

目標 朝食摂取率: **80%**

朝食摂取率向上のための環境づくり ~便利に気軽に~

若年層を中心に30%以上の従業員が朝食を欠食しているというデータを受け、朝食支援プログラムを実施しています。



自社の自販機コンビニサービス「ボスマート」を利用することで、社内で手軽に朝食を摂取できる環境を整えています。

※ 設定した朝ごはんTimeに購入で半額補助。

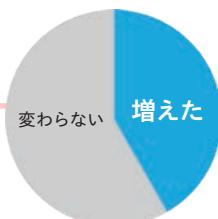


28拠点で展開・社員数95%カバー

ターゲットである若年層が利用

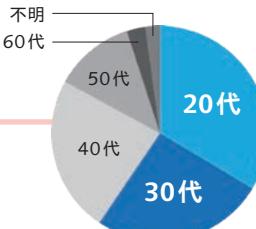
利用したことがある人のうち、

42%が「朝食摂取の回数が増えた」と回答



購入者内訳(年代別)

20代+30代 59.4%



参加者の声

- 朝は家族の準備で忙しく、自分の時間がない。会社で購入できてとても助かる。
- 単身者や若手が朝食を摂るのにいい仕組みだと思う。

飲酒習慣への取組み

目標 週1回の休肝日設定率: **90%**

ノンアルコールを活用した休肝日設定チャレンジ

全世代の従業員において飲酒頻度・飲酒量が高く、30%近い従業員が休肝日設定がないという現状から、適正な飲酒習慣を促進する取組みを実施しています。

ノンアルコール飲料を利用した休肝日設定チャレンジ ～ノンアルdeチャレンジ～

飲酒頻度が高い人の中から、希望者170名にノンアルコール飲料約12週間分を提供。アルコールをノンアルに置き換えることで、飲酒量のコントロールや休肝日につなげるチャレンジです。ノンアル飲料=「お酒が飲めない人が飲むもの」ではなく、「毎日の生活をもっと楽しくする飲みもの」と捉え、休肝日をリフレッシュデーとすることで、無理なく・楽しく飲酒量の削減につながるよう支援しています。



レコーディングアプリの提供

アプリの中で自分の休肝曜日を設定。

毎日の飲酒状況と翌朝の気分をレコーディングし可視化することで、飲酒行動と心身の健康への意識づけをサポートします。

eラーニングによる啓蒙活動

年に1回、飲酒に関するeラーニングを実施しています。飲酒による生活習慣病発症リスクを知り、また改めて自身の飲酒習慣に目を向けてもらう場としています。



喫煙習慣への取組み

目標 非喫煙率: 95%



喫煙による健康リスクの低減

毎月

サントリーでは従業員の喫煙や受動喫煙による健康リスクの低減を目的に、2021年から就業時間内禁煙、2022年からは敷地内全面禁煙をルール化しています。しかし、2022年以降微増している喫煙率に対して、更なる対策を進めていきます。

「5/31世界禁煙デー」には全社に向けて健康管理経営責任者(GCHO)からメッセージを発信。改めてルールの徹底を強く呼びかけました。

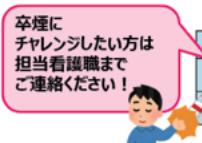
毎月22日(スワンズワンデー)には各拠点内のサイネージや館内放送で禁煙を呼び掛ける等、継続的な意識づけを実施しています。

また、喫煙者への意識調査を実施。禁煙に関心を寄せる170名の従業員を対象に禁煙プログラムを提供しています。

担当看護職が個々の状況に合わせたサポートをしながら、禁煙成功に向けて全力で支援します。

5/31は『世界禁煙デー』 敷地内全面禁煙の徹底を！

- 就業時間中は、どのような勤務場所であっても禁煙
(社外喫煙スペースも利用不可)
- 就業時間中は、**外出中、在宅勤務中、運転中、残業時間中も含め禁煙**
- 営業車内は終日完全禁煙**
- 加熱式たばこ、電子たばこも禁煙対象



禁煙外来	支援方法	会社費用負担
社内卒煙サポートプログラム	5回の外来通院 メール及び見守り隊のサポート	1万円の豪華賞品プレゼント

職場の健康を守る禁煙促進活動～受動喫煙ゼロへ～

肺がんセミナー実施

喫煙者が自身にもたらす健康被害はもちろん、周囲にも影響があることの理解を促すセミナーを開催しました。

喫煙が職場にもたらす影響を知ることで、自身の健康意識を高めるとともに、健康的な職場環境の維持につながる活動を今後も継続していきます。



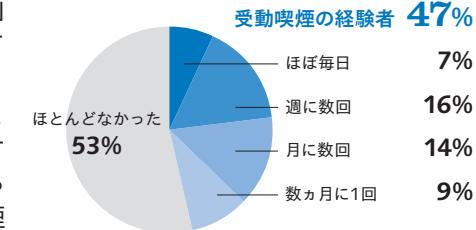
喫煙者の受講者のうち90%が卒煙に興味が出たと回答

受動喫煙ゼロに向けた取組み

受動喫煙実態調査で約半数の従業員が「社内でタバコの匂いを感じたことがある」と回答。時間帯は昼休憩と午後に集中しています。

タバコの45分ルール(喫煙後45分間は、呼気中に残留する有害物質が周囲に拡散することを考慮し、周囲に配慮した行動を取ること)を周知するなど、「望まない受動喫煙ゼロ」を目指して活動を推進していきます。

アンケート結果: 社内の受動喫煙



グループ全体で進める禁煙への挑戦

2025年は禁煙への取組みをグループ会社へも展開しました。非喫煙率が70%を下回っているグループ会社に対しては、各社の状況に応じた対応策を提案し、その実施を支援しています。

施策例

禁煙に向けた
5ヵ年計画策定

看護職による
喫煙者との個別面談

禁煙サポート
プログラム

健康行動の習慣化への取組み

サントリーでは“健康”は「病気ではないこと」だけでなく「体も心も健やかで良い状態であること」と捉えています。そのために、従業員一人ひとりが健康に関する知識を深め、日常生活の中で積極的に健康的な行動に取組む「健康オーナーシップ」を持つことを目指しています。病気になってからの治療ではなく、健康なうちから良い生活習慣を身につけ、豊かなサントリー人生を送ることができるよう、“健康行動の習慣化”に向けた様々な取組みを行っています。

習慣化に向けた施策

“ウェルビーイング学部”設立

社内ポータルサイトに、心身の健康や自分らしく生きる“ウェルビーイング”について学べる学習コンテンツを立ち上げました。

隙間時間に学べる動画から本格的な学習コンテンツまで、約70種類を用意しています。

従業員一人ひとりが心身ともに充実した生活を送るための正しい知識を身につけ、日常生活で実践できるよう、今後も基盤整備に取り組んでいきます。



“習慣化”健康ポスター

月ごとにテーマを決め、健康的な生活習慣を送るためのメッセージをグループ会社を含めた全事業所に掲示しています。日々目にしてすることで、気づきと習慣化を促すための取組みです。



“セルフコンディショニング”セミナー

「一流アスリートから学ぶセルフコンディショニング」と題したビジネスパーソン向けセミナーを開催しました。

アスリートが最高のパフォーマンスを発揮するための日々の工夫は、ビジネス生活にも多くのヒントを与えてくれます。

習慣化の重要性とその実践方法を学び、充実した毎日へつながることを目指しています。



プロゴルファー
宮里 藍



2024年パリオリンピック レスリング 金メダリスト
鏡 優翔

参加者の声

一流選手も自分にあう健康法を「トライ＆エラーで探し続けている」。

自分と向き合い続けることが大事だと分かった。

「日常の中でできる工夫」を自分の状態に合わせてできることから取り入れていきたい。

セミナー受講の
有益度

4.7/5点

メンタルヘルスの取組み

目標 非高ストレス者の割合：95%

サントリーでは従業員のメンタルヘルスを重視し、心の健康づくりを積極的に進めています。

ストレスの軽減や不調の未然防止策を取り入れることで従業員が心地よく働く環境を提供し、モチベーションの維持・向上を目指しています。

ストレスチェックの職場分析

2025年からストレスチェックの結果を組織風土調査と合わせて分析することで、組織の状態をより正確に把握し、改善点を明確にすることができますようになりました。部門長・各社人事部門向けに説明会を開催し、フィードバックシートの読み方や組織状況の把握、改善への対応方法を説明しています。要望のある部署には個別相談会を実施し、アクションプラン策定までサポートをします。

このように、職場環境改善に向けたきめ細かなサポートを実施しています。

ストレスチェックによる高ストレス者割合

2025年: 8.4%

「総合健康リスク」だけでなく、「職場の活性度」についても説明を行うことで、組織ごとの課題を理解しやすくなっています。また、改善アドバイスの記載があることで、現場での具体的なアクションにつなげることができます。



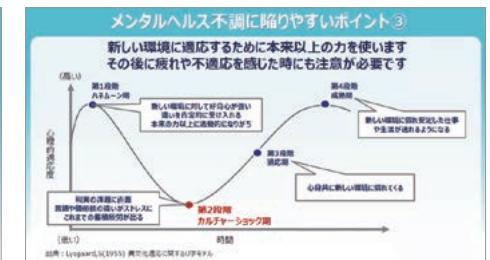
メンタルヘルスケア教育

セルフケア

ストレスに気づき、適切に対処できるようにサポートするため、セルフケアに関するeラーニングを実施しています。動画を通して、メンタルヘルスの基礎知識だけでなく、より自己理解を深めることができるようなプログラムすることで、従業員が自分のメンタルヘルスを管理し、健康的な職場生活を送れるよう支援しています。

本動画で学ぶこと

- 自己保健義務とメンタルヘルス不調に陥りやすいポイント
- セルフケアの基本①いつもと違う変化に気づく
- セルフケアの基本②悩みを抱えすぎずに報告・相談する
- セルフケアの基本③自分の感情と上手く付き合う



ラインケア

ラインケアでは、ハンドブックの配布や定期的な研修・eラーニングを通じて、マネジャーがメンバーの心身の健康を適切に管理するスキルを身に着け、実践できるようにサポートしています。

相談対応の基本ステップ

- スティップ1 気づき
- スティップ2 声かけ・気配り
- スティップ3 聆聽
- スティップ4 支援する・つなげる

コミュニケーションが大切

3. 理解分析・管理担当者の役割

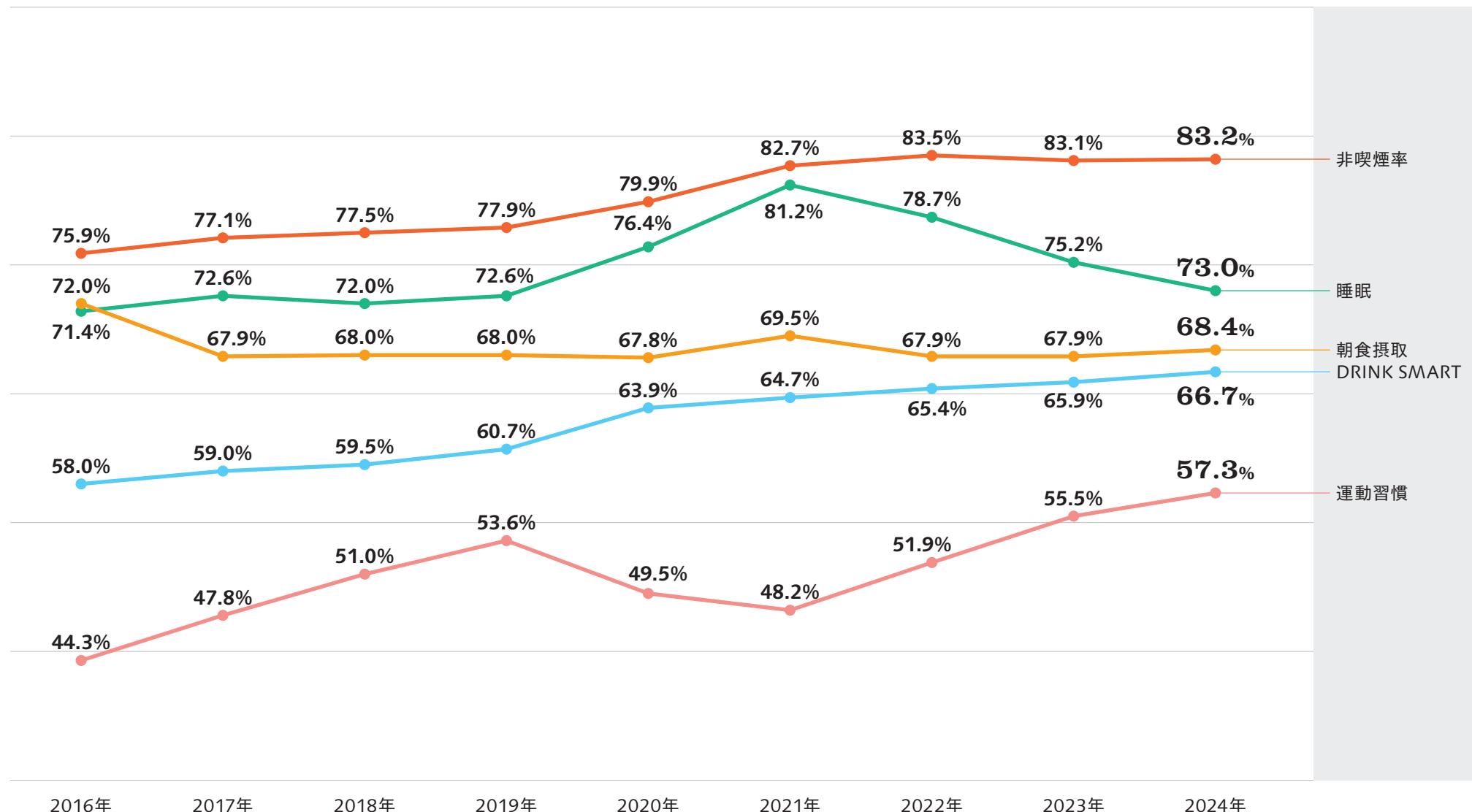
■理解分析

- マネジャー
- 人事（福利）担当者
- 医療・メンタル専門家
- 相談室
- 経営層

■マネジャーの役割

- マネジメントの目的達成に貢献するため、組織の運営を支える役割
- 組織の運営に貢献するため、組織の運営に貢献する役割
- 組織の運営に貢献するため、組織の運営に貢献する役割
- 組織の運営に貢献するため、組織の運営に貢献する役割
- 組織の運営に貢献するため、組織の運営に貢献する役割

生活習慣の推移



※ 各項目は健康診断の問診結果から集計

朝食摂取:「朝食を抜くことが週3回以上ある」の間に「いいえ」と回答した人の割合

睡眠:「睡眠で休養が十分とれている」と回答した人の割合

DRINK SMART:お酒を飲む頻度が「毎日」と回答した人以外の割合

運動習慣:「週2回30分以上の軽く汗をかく運動を1年以上実施している」または「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している」と回答した人の割合

コラボヘルスの取組み

健保と会社が協働する「特定保健指導」

サントリーでは、2017年よりコラボヘルスの取組みとして、国から健保に実施が義務付けられている特定保健指導を健保と会社側で協働実施しています。

協働取組みのポイント

●指導開始前のアプローチ

担当看護職との面談等により、特定保健指導の意義と目的を分かりやすく説明しています。

●自社健康飲料の活用

指導対象となった従業員には、自社の特定保健用食品・機能性表示飲料を配付。指導と並行して毎日飲用することで生活習慣・数値改善への意識を高めています。

●特定保健指導とは

特定保健指導とは

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、国が健康保険組合に実施を義務づけている保健指導のことです（法定義務）

目的

生活習慣の改善および生活習慣病の予防

指導概要

保健師や管理栄養士などの専門職が、面談・メール・電話などを通じて約3ヶ月間の生活習慣を見直すサポートを行う

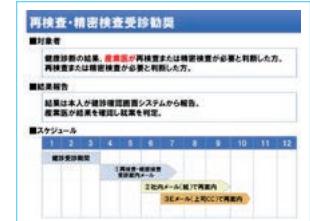


重症化予防の取組み

要二次検査・要治療者への受診勧奨 治療放置群減少へ

健診結果で要二次検査・要報告と産業医が判定した対象者に対しては、担当産業医・看護職による受診勧奨を、必要に応じて上司も巻き込みながら実施しています。

健康受診結果と健保のレセプト結果をクロスさせ、健康課題マップを作成し従業員の健康状態と受診状況を見える化。健診結果に基づく受診勧奨を行い、全体が健康群に近づくようなスキーム作りに取り組んでいます。



段階的な二次検査受診勧奨

結果表

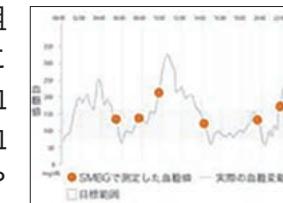
健診	健康		トクホ 手帳冊		(検査) トクホ 対象		治療 放尿病		生活 習慣病		重複		入院等	
	通院無し	通院有り	健康	不健康	健康	不健康	健康	不健康	健康	不健康	健康	不健康	健康	不健康
健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
不健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
不健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
不健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
不健康	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

要二次検査・要報告者への受診勧奨を行っています。

2024年度 生活習慣病ハイリスク者の治療率 **70.4%**

重症化予防支援

サントリー健康保険組合では、重症化予防指導に力を入れています。特に血糖値改善に力点をおき、血管疾患のリスクのある人や糖尿病の進行により人工透析などのリスクのある人を対象に、かかりつけ医と連携しながら食事や運動後の血糖変動が体感できる研修施設での宿泊型プログラムを実施してきました。



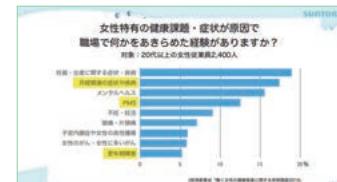
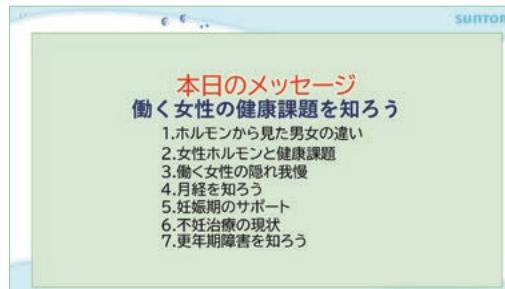
最近は対象を軽度の早期腎症予防まで拡大し、血糖値変動を常時見える化する「FreeStyleリブレ」を使ったリモート型の指導を実施しています。

女性の健康支援

サントリーでは2021年より「働く女性の保健室」を立ち上げ、女性の健康支援に取り組んでいます。女性の健康に関する正しい情報の発信や相談窓口の設置等を通じて、女性が生き生きと働ける状態を目指しています。また、女性だけでなく、共に働く周囲の人々にも理解を深め、性差の違いを理解しあいながら支え合う職場環境をつくるためのサポートをしています。

女性の健康課題に対する理解促進

工場 女性従業員の割合が少ない工場のマネジャーに対し、女性の健康についての勉強会を実施しました。



参加者の声

- 女性労働基準に関する問題を認識した
- 女性から、より意見を述べやすい環境をつくりたい
- 男女問わず快適に働ける職場づくりを意識したい

営業 全国の中堅営業拠点の女性に対し、改めて情報発信を行うとともに、営業現場で働く女性従業員の実態調査を実施しました。



アンケート結果

- 上司に女性の健康課題(生理痛・PMS等)が原因の体調不良を伝えにくく感じたことがある **伝えにくい 70.5%**
- 女性の健康課題などにより職場で困った経験がある **経験あり 49.5%**

今後に向けて

女性とともに働く職場での相互理解を深め、協力しあう風土の形成に向けた取組みを推進していきます。



セミナーでは、産婦人科医の高尾美穂先生と健康管理最高責任者(GCHO)による対談を実施。女性の健康課題や悩みだけでなく、「体調が悪そうな女性にどのように声をかけていいか分からない」といった男性の戸惑いについても共有し、男女が共に理解し合えるきっかけとなる場を提供しています。

性別を問わず、個々の声に寄り添うことで、相互理解と共感が深まるコミュニケーションができる職場環境の構築を目指しています。

健康データの見える化と活用

サントリーでは2023年より従業員の健康について正確でタイムリーな現状把握・分析・施策立案につなげるために「健康ダッシュボード」を導入しています。2025年には開示データに主要な生活問診結果を加え、より詳細な分析が可能となりました。経営トップをはじめ、各社人事担当・各部健康担当者が自組織の健康データを把握し、自立自走しながら健康経営を推進するための重要なツールです。



データを見る化

- ① 健診受診状況
- ② 二次検査受診率
- ③ 特保率・有所見率
- ④ 重点指標進捗
- ⑤ 生活問診結果 等のデータを毎月集計し、会社単位、組織単位、拠点単位といった切り口で各担当者に開示。

① 健診受診状況



② 二次検査受診率



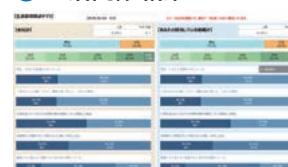
③ 特保率・有所見率



④ 重点指標進捗

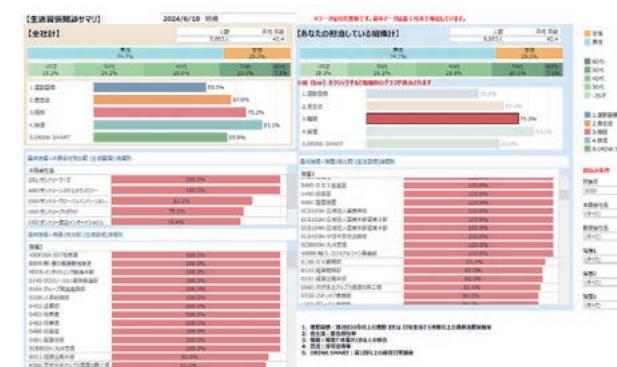


⑤ 生活問診結果



分析・課題抽出

産業保健スタッフと健康推進担当者、各社の人事担当者などが月次でデータを確認。一次健診や二次健診の受診状況進捗をはじめ健康の課題を即時に把握します。

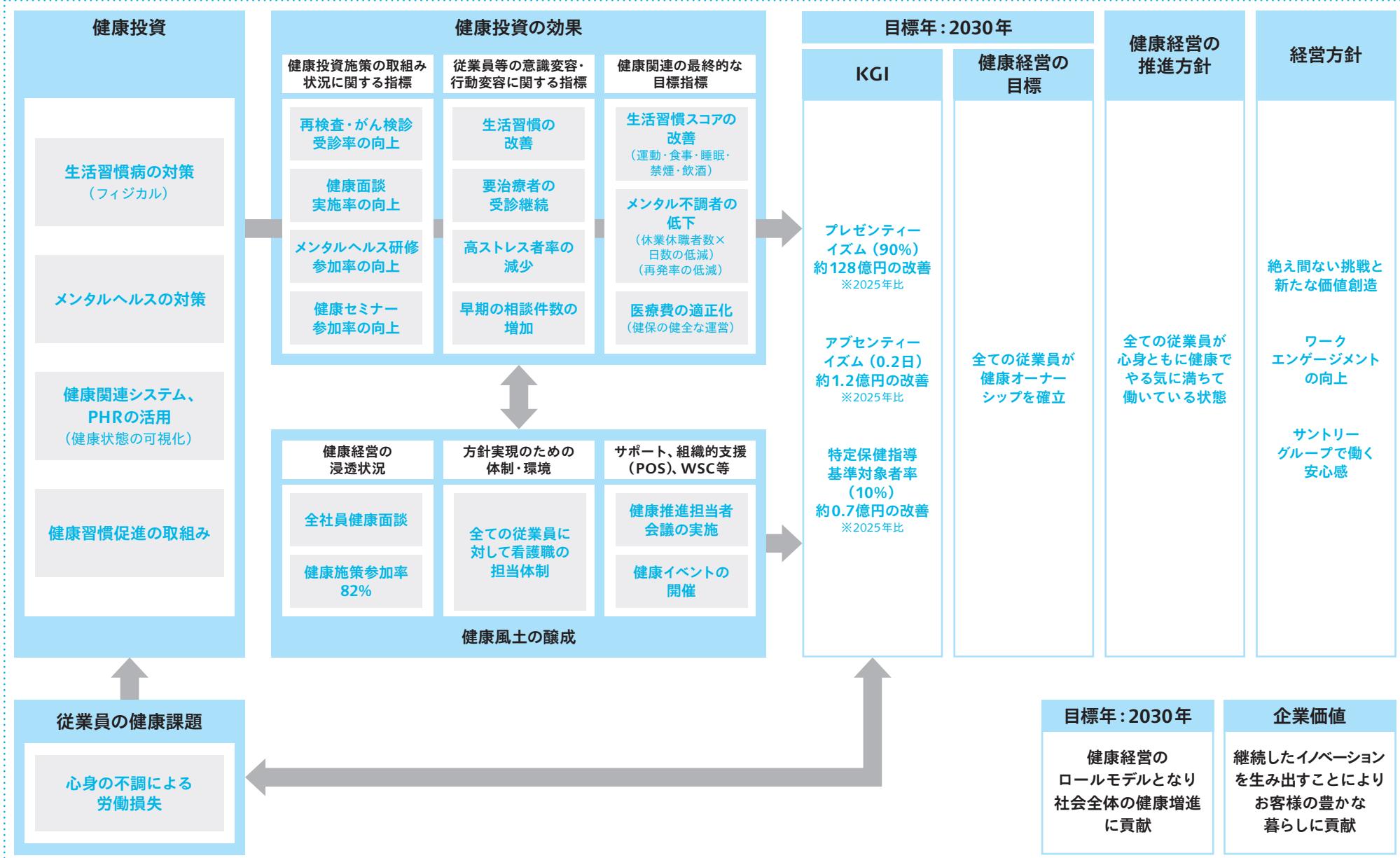


アクション

月次の会議体などを通じて、組織ごとの課題について話しあい、課題に即応した健康施策を立案、実施につなげます。



健康経営戦略マップ(取組みの全体像)



社会の「健康」への貢献

適正飲酒の啓発

～お酒に関する正しい知識を啓発 海外を含め幅広く社会の健康を支援～

サントリーグループは、酒類を製造・販売する企業の責任として、業界に先駆けてアルコール関連問題に取り組んできました。従業員が適正飲酒を実践することはもちろん、社会への働きかけも積極的に展開しています。

～企業、自治体、大学などの団体様向けにセミナーを開催～

サントリーグループは2011年から企業や自治体、大学などの団体様向けに適正飲酒啓発セミナーを開催し、2023年までの13年間で延べ3万6,000人に、お酒の正しい知識と付き合い方をお伝えしてきました。2025年より、従来のセミナー内容にノンアルコール飲料を含めたお酒の魅力体験を加えた「ドリンクスマイルセミナー」を本格的に開始。正しく、多様なお酒の楽しみ方をお伝えしています。

海外では、アメリカのケンタッキー大学で学生に向けた適正飲酒啓発セミナー「The Learning Bar」を実施。年間約1,300人の学生が参加しています。



地域を支える「Be supporters！」

Be supporters!



サントリーウエルネスでは、高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、クラブや地域を「支える」存在となることを目指す活動「Be supporters！」(略して、Be サポ！)」を推進しています。2020年12月にリーグの複数のクラブと協働して活動をスタートし、これまでに全国約230の高齢者施設・のべ1万人が参加するまでに広がっています。みんなでサッカーを応援することで、人との“つながり”や“役割”が生まれ、幸福度が向上する。そんなことを明らかにするための研究も始まっています。人生100年時代を迎え、年齢を重ねてもワクワクドキドキできること、楽しいと思えることがある。誰もが自分らしく輝ける、そんな社会を『Be サポ！』を通じて作っていきます。

『人生100年時代の物語大賞』

第2回目を迎えた「人生100年時代の物語大賞」の大賞には、移籍してしまった“推し”的選手に会うために、神戸から鹿児島まで850kmの旅をして、夢を叶えたテルコさん(83歳・当時)の物語が受賞しました。



検索

で検索

社会の「健康」への貢献

「GREEN DA·KA·RA」熱中症対策啓発活動

～学校・企業でのセミナーを通した啓発活動を展開～

サントリー食品インターナショナルでは、熱中症対策の啓発活動の一環として「GREEN DA·KA·RA」を通じたさまざまな取組みを展開しています。

小学校での啓発活動

熱中症対策啓発リーフレットを、全国の小学校(約5,600校／冊子・デジタル版計)へ無償で配布しています。

また、授業を通して熱中症対策を楽しく学べるオリジナル教材を開発し、希望する小学校(約200校)へ、製品とともに無償で提供しています。



子どもの熱中症対策啓発活動

「こども気温」

2023年にウェザーマップ社と行った共同検証実験結果を基に、地面からの距離が近く、照り返しの影響を受けやすい子ども特有の暑熱環境を「こども気温」と名付け、店頭ポスターの掲示や啓発イベントの実施など、子どもの熱中症対策啓発活動に継続して取り組んでいます。



「GREEN DA·KA·RA」(左)

「GREEN DA·KA·RA やさしい麦茶」(右)



企業向け熱中症セミナー

希望する取引企業に対して、オフィスにおける熱中症発生の危険性や予防方法についてのセミナーを2016年から継続して実施し、企業の健康経営をサポートしています。

● 2025年1~7月実績: **227** 事業所



社会の「健康」への貢献

健康経営取組み支援サービス「SUNTORY+」

企業の「健康経営」をサポートするヘルスケアサービス

SUNTORY+

従業員が主役の健康経営サービス

導入からご利用まで 0円

従業員アプリ × 健康飲料 × 人事管理画面

サントリープラスが選ばれる理由

一般的な健康アプリは1ヵ月後に15%を下回ると言われています

導入後6ヵ月後も2人に1人が続けられています

※ 調査対象人数: 13,786名(対象期間中の全ユーザー)調査対象期間: 2023年9月1日~2024年2月29日 サントリープラスアプリ利用データより抽出(当社にて実施)

※ 繼続の定義: 月1回以上のアプリ起動

※ Adjust Global App Trends 2019レポートより(調査期間: 2018年1月1日~2018年12月31日adjust株式会社による調査)

1,500社以上で導入いただき、
サントリー習慣化メソッドが健康行動の継続を支援しています

※2025年6月時点

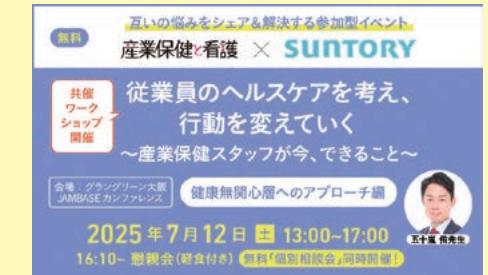
対外活動を通じた「健康に対する貢献活動」

▶産業保健分野の方々との交流

日本産業衛生学会セミナー登壇



「産業保健と看護」共催セミナー



各方面の有識者とともに「従業員が主役の健康経営」 という考え方・在り方の浸透を図っています

▶「健康の日」センター第1号として

サントリービバレッジソリューションは、健康の日フォーラム事務局より「健康の日センター第1号」に任命され、2025年4月4日(金)に開催された「健康の日フォーラム」に登壇しました。



「健康=我慢」というネガティブな印象を
払拭し、「楽しい」「簡単」といったポジティブな視点で健康習慣を促す施策として
SUNTORY+を紹介。

「健康の日」の趣旨に賛同し、その活動を応援するとともに、
健康経営のさらなる活性化に努めます

SUNTORY



<https://www.suntory.co.jp/company/peopleculture/>

「健康経営銘柄2025」に選定

サントリー食品インターナショナル株式会社、並びに上場企業ではないサントリーホールディングス(株)などサントリーグループ8社※は、健康経営に先進的な企業として「健康経営銘柄2025」に選出されました。

また「健康経営優良法人2025～ホワイト500～」は9年連続で認定を受けています。

※ サントリー(株)、サントリーウエルネス(株)、サントリーグローバルイノベーションセンター(株)、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリービジネスシステム(株)、サントリーフーズ(株)、サントリープロダクツ(株)、サントリーホールディングス(株)の8社(五十音順)



KENKO Investment for Health



KENKO Investment for Health

大規模法人部門

ホワイト500